

Let's Start	1 いつも「たいせつ」／言葉の準備運動 2 3、4年生で学習した表現 3 アルファベット	題材	既習の表現、アルファベットなど
		教科書ページ	p.10-p.15
単元目標 【Goal】	3、4年生の学習を振り返り、5年生の学習の準備をする。	配当時間	2時間
		学習時期	4月
言語材料	3、4年生で学習した語句や表現 語彙【Let's Start 3】アルファベット apple, banana, cat, dog, egg, fish, gorilla, hat, ink, jump, king, lemon, milk, notebook, octopus, pencil, queen, rabbit, soccer, tiger, umbrella, volleyball, watch, box, yacht, zoo		

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.10 -p.11	<p>Let's Start 1 いつも「たいせつ」／言葉の準備運動 コミュニケーションで大切なことを考える。</p> <p>◆いつも「たいせつ」 「表情・アイコンタクト・はっきりとした声・相手の言葉への反応」が、どうしてコミュニケーションで大切なのかを考える。</p> <p>◆Warm Up【言葉の準備運動】 さまざまな気持ちを Hi.の挨拶にこめて言い、気持ちを当て合う。気持ちを伝えるためには、どんな工夫ができるか考える。</p> <p>・気づきを生かそう【活動の振り返り】 いつも「たいせつ」と言葉の準備運動の活動を振り返り、気づいたことを話し合う。また、これからの学習に生かしたいことを書く。</p>	本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
	p.12 -p.13	<p>Let's Start 2 3、4年生で学習した表現 3、4年生で学習した表現を聞き取る。</p> <p>◆Let's listen. 中学年で触れた表現や語彙を使った会話から、その内容に合うイラストを選ぶ。</p>	
2	p.14 -p.15	<p>Let's Start 3 アルファベット アルファベットの読み方を確かめる。</p> <p>・音声に合わせて指で文字を追いながら、ABCの歌を歌う。</p> <p>・アルファベットの読み方が発音されるのを聞き、それに合う文字をキーボードから探して○を付ける。</p> <p>・ミルクとハットという語のローマ字と英語のつづりを比べて、その違いを確認する。</p> <p>・アルファベットジングルを聞きながら後について言い、アルファベットの音を理解して単語を発音する。</p>	本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

Unit 1	Hello, everyone.	題材	自己紹介
		教科書ページ	p.16-p.25 Alphabet Time1 含
単元目標 【Goal】	クラスの友達と仲良くなるために、名刺を作って自己紹介をすることができる。 [話す 発表] 名前や好きなことを言って自己紹介をすることができる。	重点化領域	話すこと 発表
		配当時間	7時間
		学習時期	4月～5月
言語材料	表現 【Step 1】 My name is How do you spell it? 【Step 2】 Do you like ...? Yes, I do. / No, I don't. What sport [color / fruit] do you like? I like 語句 色・形、スポーツ、動物、果物・野菜		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 挨拶をする (初対面) Nice to meet you. (ア) 相づちを打つ I see. (イ) 褒める Great. That's nice. (エ) 賛成する Me, too. Response 【Step 2】 Good.		

評価規準 (例) 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

話すこと 【発表】	《知識》 How do you spell it?や What ... do you like? I likeなどの表現や関連語句を理解している。 《技能》 名前のつづりや好きなものについて話す技能を身につけている。 《思・判・表》 クラスの友達と仲良くなるために、自分の名前や好きなものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。 《態度》 クラスの友達と仲良くなるために、自分の名前や好きなものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。
--------------	--

Alphabet Time 1 ※単元にとられず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》 アルファベットの大文字の読み方を理解している。 《技能》 アルファベットの大文字の読み方を発音する技能を身につけている。
書くこと	《知識》 アルファベットの大文字の書き方を理解している。 《技能》 アルファベットの大文字をなぞり書きする技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】色やスポーツ、果物などの言い方を知る。			
1	p.16 -p.17	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【Hello to the World】 ◆Small Talk 【Let's go to my school.】 ◆Story 【(場面) 新学期、新しい友達や先生と出会う。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. Picture Dictionary を見て、聞こえてきた色やスポーツなどの単語を指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】名前のつづりをたずね合う。			
2	p.18 -p.19	名前のつづりをたずね合う言い方を知る。 ◆Let's sing. 【Hello to the World】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1 の表現を確認する。 ◆Let's listen. ・巻末のローマ字の表を確認する。 ・名前やつづりをたずねる会話から正しいつづりを聞き取る。 ◆Let's chant. 【How do you spell it?】 チャンツを使って、Step 1 の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【What's your name?】 ◆Alphabet Time 1 ①② (p.24-p.25) 文字を指しながら声に出して読んだり、読み上げられた文字を探したりする。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】 名前のつづりをたずね合う。			
3	p.18 -p.19	名前のつづりをたずね合う。 ◆Let's chant. 【How do you spell it?】 ○Let's try. 名前のつづりをたずね合い、キーボードの文字を押さえる。 【Plus One】 つづりの順番を変えて、人物当てクイズをする。 ◆Let's write and read. 自分の名前を書いて、つづりを声に出して読む。 ◆Alphabet time 1 ③ (p.24-p.25) アルファベットの大文字のグループ分けを考える。	○Let's try. [話す 発表] 《知識》 How do you spell it? などの表現やアルファベットを理解している。／《技能》 名前のつづりについて話す技能を身につけている。
【Step 2】 好きなものをたずね合う。			
4	p.20 -p.21	好きなものをたずね合う言い方を知る。 ◆Let's chant. 【How do you spell it?】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 2 の表現を確認する。 ◆Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.2-5) で語彙を導入する。 ・ 登場人物の会話から好きなものを聞き取る。 ◆Let's chant. 【I like red.】 チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【What food do you like?】 ◆Alphabet Time 1 ④ (p.24-p.25) アルファベット順に大文字カードを並べる。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
5		好きなものをたずね合う。 ◆Let's chant. 【I like red.】 ○Let's try. 友達がどんなものが好きかをたずね合う。 【Plus One】 自分が好きなものについて、友達も好きかをたずねる。 ◆Let's read. 自分が好きな色を伝える文を声に出して読む。 ◆Alphabet Time 1 ⑤ (p.24-p.25) 音声を聞いて、聞こえたアルファベットの大文字を鉛筆でなぞる。	○Let's try. [話す 発表] 《知識》 What ... do you like? I like... などの表現や関連語句を理解している。／《技能》好きなものについて話す技能を身につけている。
【Jump!】 クラスの友達と仲良くなるために、名刺を作って自己紹介をする。			
6		世界の友達の自己紹介を聞き、どんな自己紹介をするか考える。 ◆Let's chant. 【How do you spell it?】 / 【I like red.】 ◆Let's watch and think. ・ 世界の友達からのビデオレターを視聴して内容を捉える。 ・ どんな自己紹介をしたら相手に覚えてもらえるかを考える。 ◆Let's speak. ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ 自分の名前のつづりと好きなものの絵をかくて名刺を作る。 ◆Alphabet Time 1 ⑥ (p.24-p.25) 音声を聞いて、聞こえたアルファベットの大文字をノートなどに書く。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
7	p.22 -p.23	クラスの友達と仲良くなるために、名刺を渡して自己紹介をし合う。 ◆Let's chant. 【How do you spell it?】 / 【I like red.】 ○Let's speak. ・ 教科書を見直すなどして、自己紹介に使える表現を探し、全体で共有する。 ・ 名刺を交換して、自己紹介をし合う。 ◆All About Me 巻末の All About Me の Unit 1 に自分のことを書き入れる。 ◆振り返り 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。	○Let's speak. [話す 発表] 《知識》 How do you spell it? や What ... do you like? I like ... などの表現や関連語句を理解している。／《技能》 名前のつづりや好きなものについて話す技能を身につけている。／《思・判・表》 クラスの友達と仲良くなるために、自分の名前や好きなものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。／《態度》 話そうとしている。

Unit 2	When is your birthday?	題材	誕生日、プレゼント
		教科書ページ	p.26-p.35 Alphabet Time2 含
単元目標 【Goal】	おたがいのことをよく知るために、誕生日などをたずね合うことができる。 【話す やり取り】 誕生日や誕生日にほしいものをたずね合うことができる。	重点化領域	話すこと やり取り
		配当時間	7時間
		学習時期	5月～6月
言語材料	表現 【Step 1】 When is your birthday? My birthday is 【Step 2】 What do you want for your birthday? I want 語句 月・日にち、身の回りのもの		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 相づちを打つ That's right. (ア) 繰り返す Oh, July 15th? (イ) 驚きを表す Wow. Really? (イ) 礼を言う Thank you very much. Response 【Step 1】 Excuse me?		

評価規準(例) 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

話すこと 【やり取り】	《知識》 When is your birthday?や What do you want for your birthday?などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 誕生日や誕生日に欲しいものについて伝え合う技能を身につけている。 《思・判・表》 おたがいのことをよく知るために、誕生日や誕生日に欲しいものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。 《態度》 おたがいのことをよく知るために、誕生日や誕生日に欲しいものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。
----------------	---

Alphabet Time 2 ※単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》 アルファベットの小文字の読み方を理解している。 《技能》 アルファベットの小文字の読み方を発音する技能を身につけている。
書くこと	《知識》 アルファベットの小文字の書き方を理解している。 《技能》 アルファベットの小文字をなぞり書きする技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】身の回りのものの言い方を知る。			
1	p.26 -p.27	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【Sing, Sing, Together】 ◆Small Talk 【Let's go to my favorite shop.】 ◆Story 【(場面) プレゼントを探しにある店にやって来る。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. 教科書の絵を見て、聞こえてきたものを指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】誕生日をたずね合う。			
2	p.28 -p.29	誕生日をたずねる言い方を知る。 ◆Let's sing. 【Sing, Sing, Together】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen. ・Picture Dictionary (p.8) で語彙を導入する。 ・誕生日をたずね合う会話から誕生日の月と日付を聞き取る。 ◆Let's chant. 【When is your birthday?】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【When is your favorite day?】 ◆Alphabet Time 2 ①② (p.34-p.35) 文字を指しながら声に出して読んだり、文字をたどって迷路ゲームをしたりする。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】誕生日をたずね合う。			
3	p.28 -p.29	誕生日をたずね合う。 ◆Let's chant. 【When is your birthday?】 ○Let's try. 誕生日をたずね合い、誕生日が早い順に並ぶ。 【Plus One】 誕生日の日にちが同じ友達を探す。 ◆Let's read. 自分の誕生月のカードを声に出して読む。 ◆Alphabet time 2 ③ (p.34-p.35) アルファベットの小文字のグループ分けを考える。	○Let's try. [話す やり取り] 《知識》 When is your birthday?などの表現や関連語句を理解している。／《技能》誕生日について伝え合う技能を身につけている。
【Step 2】誕生日に欲しいものをたずね合う。			
4	p.30 -p.31	誕生日に欲しいものをたずねる言い方を知る。 ◆Let's chant. 【When is your birthday?】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 2の表現を確認する。 ◆Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.9) で語彙を導入する。 ・ 登場人物の会話から誕生日に欲しいものを聞き取る。 ◆Let's chant. 【I want a pink pencil case.】 チャンツを使って、Step 2の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【What do you want?】 ◆Alphabet Time 2 ④ (p.34-p.35) アルファベット順に小文字カードを並べる。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
5		誕生日に欲しいものをたずね合う。 ◆Let's chant. 【I want a pink pencil case.】 ○Let's try. 写真を見て、誕生日に欲しいものをたずね合う。 【Plus One】 誕生日に欲しいものについて詳しくたずねる。 ◆Let's read. 自分が欲しいものを伝える文を声に出して読む。 ◆Alphabet time 2 ⑤ (p.34-p.35) 音声を聞いて、聞こえたアルファベットの小文字を鉛筆でなぞる。	○Let's try. [話す やり取り] 《知識》 What do you want for your birthday?などの表現や関連語句を理解している。／《技能》誕生日に欲しいものについて伝え合う技能を身につけている。
【Jump!】おたがいのことをよく知るために、誕生日などをたずね合う。			
6	p.32 -p.33	世界の友達のインタビューを聞き、友達への質問を考える。 ◆Let's chant. 【When is your birthday?】 / 【I want a pink pencil case.】 ◆Let's watch and think. ・ 世界の友達のインタビューを視聴して、カードを完成させる。 ・ 自分がカードを作るとしたら、どんな質問をするかを考える。 ◆Let's speak. ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ 教科書を見直すなどして、インタビューをするのに使える表現を探し、全体で共有する。 ◆Alphabet time 2 ⑥ (p.34-p.35) 音声を聞いて、聞こえたアルファベットの小文字をノートなどに書く。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
7		おたがいのことをよく知るために、誕生日などをたずね合う。 ◆Let's chant. 【When is your birthday?】 / 【I want a pink pencil case.】 ○Let's speak. ・ 誕生日や誕生日に欲しいものなどをたずねて、友達のカードを作り、それを集めてクラスの誕生日カレンダーを作る。 ◆All About Me 巻末の All About Me の Unit 2 に自分のことを書き入れる。 ◆振り返り 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。	○Let's speak. [話す やり取り] 《知識》 When is your birthday?や What do you want for your birthday?などの表現や関連語句を理解している。／《技能》誕生日や誕生日に欲しいものについて伝え合う技能を身につけている。／《思・判・表》おたがいのことをよく知るために、誕生日や誕生日に欲しいものについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。／《態度》伝え合おうとしている。

Unit 3	What subjects do you like?	題材	学校生活、教科
		教科書ページ	p.36-p.45 Alphabet Time3 含
単元目標 【Goal】	自分の興味・関心を伝えるために、「わたしの時間割」を発表することができる。 [聞く] 会話から、好きな曜日や教科を聞き取ることができる。 [話す 発表] 「わたしの時間割」や、自分の好きな教科を発表することができる。	重点化領域	聞くこと 話すこと 発表
		配当時間	7 時間
		学習時期	6 月～7 月
言語材料	表現 【Step 1】 What subjects do you like? I like 【Step 2】 What do you have on ...? I have 語句 曜日、教科		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 相づちを打つ Oh, do you? (ア) 繰り返す Oh, you play sports. (イ) 褒める That's great. Response 【Step 1】 How about you? 【Step 2】 Wow!		

評価規準(例) 《知識》=知識、《技能》=技能、《思・判・表》=思考・判断・表現、《態度》=主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》What subjects do you like?や What do you have on ...?などの表現や関連語句を理解している。 《技能》好きな教科や時間割について聞き取る技能を身につけている。 《思・判・表》登場人物と外国の小学生の会話から、その人物の好きな曜日の時間割や好きな教科を聞き取っている。 《態度》登場人物と外国の小学生の会話から、その人物の好きな曜日の時間割や好きな教科を聞き取ろうとしている。
話すこと 【発表】	《知識》What subjects do you like?や What do you have on ...? I haveなどの表現や関連語句を理解している。 《技能》好きな教科や時間割について話す技能を身につけている。 《思・判・表》自分の興味・関心を伝えるために、「わたしの時間割」を作って簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。 《態度》自分の興味・関心を伝えるために、「わたしの時間割」を作って簡単な語句や基本的な表現を用いて発表しようとしている。

Alphabet Time 3 ※単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》アルファベットの大文字・小文字の読み方を理解している。 《技能》アルファベットの大文字・小文字の読み方を発音する技能を身につけている。
書くこと	《知識》アルファベットの大文字・小文字の書き方を理解している。 《技能》アルファベットの大文字・小文字をなぞり書きする技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】 曜日や教科の言い方を知る。			
1	p.36 -p.37	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【I Love the Mountains】 ◆Small Talk 【Let's talk about subjects.】 ◆Story 【(場面) 世界の小学生とオンラインで話す。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. Picture Dictionary を見て、聞こえてきた曜日や教科を指す。	本時では、目標に向けた指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】好きな教科をたずね合う。			
2	p.38 -p.39	好きな教科をたずねる言い方を知る。 ◆Let's sing. 【I Love the Mountains】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1 の表現を確認する。 ○Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.10) で語彙を導入する。 ・ 世界の小学生との会話から好きな教科を聞き取る。 ◆Let's chant. 【What subjects do you like?】 チャンツを使って、Step 1 の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【Do you like arts and crafts?】 ◆Alphabet Time 3 ① (p.44-p.45) Aa~Zz の文字を指しながら声に出して読む。	○Let's listen. [聞く] 《知識》What subjects do you like? などの表現や関連語句を理解している。 / 《技能》好きな教科について聞き取る技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】好きな教科をたずね合う。			
3	p.38 -p.39	好きな教科をたずね合う。 ◆Let's chant. 【What subjects do you like?】 ○Let's try. グループになって、好きな教科をたずね合う。 【Plus One】 その教科が好きな理由もたずね合う。 ◆Let's read. 自分の好きな教科を伝える文を声に出して読む。 ◆Alphabet time 3 ② (p.44-p.45) 大文字 D、E、G がどのように小文字に変化したかを考える。	○Let's try. [話す 発表]《知識》What subjects do you like?などの表現や関連語句を理解している。／《技能》好きな教科について話す技能を身につけている。
【Step 2】各曜日の時間割をたずね合う。			
4	p.40 -p.41	各曜日の時間割をたずねる言い方を知る。 ◆Let's chant. 【What subjects do you like?】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 2 の表現を確認する。 ○Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.10) で語彙を導入する。 ・ タイの小学生との会話から各曜日の時間割を聞き取る。 ◆Let's chant. 【I have math, music, and English.】 チャンツを使って、Step 2 の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【Do you like Monday?】 ◆Alphabet Time 3 ③ (p.44-p.45) アルファベットカードで大文字と小文字のセットを作る。	○Let's listen. [聞く]《知識》What do you have on ...?などの表現や関連語句を理解している。／《技能》各曜日の時間割について聞き取る技能を身につけている。
5		各曜日の時間割をたずね合う。 ◆Let's chant. 【I have math, music, and English.】 ○Let's try. 世界の小学生になりきって、時間割をたずね合う。 【Plus One】 完成した時間割を見て、気づいたことを話す。 ◆Let's read. 自分の時間割を伝える文を声に出して読む。 ◆Alphabet time 3 ④ (p.44-p.45) Aa~Zz の文字を声に出して読み、鉛筆でなぞる。	○Let's try. [話す 発表]《知識》What do you have on ...? I have ...などの表現や関連語句を理解している。／《技能》時間割について話す技能を身につけている。
【Jump!】自分の興味・関心を伝えるために、「わたしの時間割」を発表する。			
6	p.42 -p.43	好きな教科や時間割を聞き取り、「わたしの時間割」を考える。 ◆Let's chant. 【What subjects do you like?】／【I have math, music, and English.】 ○Let's listen. 登場人物と外国の小学生の会話から、その人物の好きな曜日の時間割や好きな教科を聞き取る。 ◆Let's watch and think. ・世界の友達の動画を視聴して、日本との教科の違いに気づく。 ・「わたしの時間割」を作るために、自分が学びたいことを考える。 ◆Let's speak. ・モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・教科書を見直すなどして、発表に使える表現を探し、全体で共有する。 ◆Alphabet time 3 ⑤ (p.44-p.45) 音声聞いて、聞こえた Aa~Zz の文字をノートなどに書く。	○Let's listen. [聞く]《知識》What subjects do you like? や What do you have on ...?などの表現や関連語句を理解している。／《技能》好きな教科や時間割について聞き取る技能を身につけている。／《思・判・表》登場人物と外国の小学生の会話から、その人物の好きな曜日の時間割や好きな教科を聞き取っている。／《態度》聞き取るうとしている。
7		自分の興味・関心を伝えるために、「わたしの時間割」を発表する。 ◆Let's chant. 【What subjects do you like?】／【I have math, music, and English.】 ○Let's speak. ・「わたしの時間割」を作り、グループになって発表する。 ◆All About Me 巻末の All About Me の Unit 3 に自分のことを書き入れる。 ◆振り返り 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。	○Let's speak. [話す 発表]《知識》What subjects do you like? や What do you have on ...? I have ...などの表現や関連語句を理解している。／《技能》好きな教科や時間割について話す技能を身につけている。／《思・判・表》自分の興味・関心を伝えるために、「わたしの時間割」を作って簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。／《態度》発表しようとしている。

まとめ	世界の友達 1 You can do it! 1	題材	ノルウェー・南アフリカ
		教科書ページ	p.46-p.49
単元目標 【Goal】	・世界の小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取ることができる。 ・おたがいの共通点を見つけるために、先生や友達とやり取りすることができる。 [聞く] 世界の友達のインタビューから、どんな話をしているか聞き取ることができる。 [話す やり取り] 相手と自分との共通点を見つけるために、その場でやり取りすることができる。	重点化領域	聞くこと 話すこと やり取り
		配当時間	3時間
		学習時期	7月
言語材料	表現 【Unit 1】 How do you spell it? What sport do you like? 【Unit 2】 When is your birthday? What do you want for your birthday? 【Unit 3】 What subjects do you like? 語句 これまでに学習した語句		
コミュニケーション に役立つフレーズ	機能表現 (ア) 挨拶をする Hello. Nice to meet you. (ア) 相づちを打つ Me, too. That's right. I see. (イ) 礼を言う Thank you. You're welcome. (イ) 褒める Great. Cool. That's nice.		

評価規準(例) 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》Unit 1～3 で学習した What ... do you like?や When is your birthday?などの表現や関連語句を理解している。 《技能》好きなもの、誕生日や誕生日に欲しいものなどについて聞き取る技能を身につけている。 《思・判・表》ノルウェーと南アフリカの小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取っている。 《態度》ノルウェーと南アフリカの小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取り、外国の文化や暮らしに興味を深めている。
話すこと 【やり取り】	《知識》Unit 1～3 で学習した What ... do you like?や When is your birthday?などの表現や関連語句を理解している。 《技能》好きなもの、誕生日や誕生日に欲しいものなどについて伝え合う技能を身につけている。 《思・判・表》おたがいの共通点を見つけるために、話題を選んで先生や友達と1分間のやり取りをしている。 《態度》おたがいの共通点を見つけるために、話題を選んで先生や友達と1分間のやり取りをしようとしている。

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.46 -p.47	<p>世界の小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取る。</p> <p>○Let's watch.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノルウェーのマチルデさんのインタビューから、好きなスポーツを聞き取る。 ・もう一度インタビューを聞き、他にどんなことをききたいか話し合う。 ・教科書の写真を見て、マチルデさんの暮らしについて気づいたことを話し合う。 <p>○Let's watch.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アフリカのタボンガさんのインタビューから、好きな2つの教科を聞き取る。 ・もう一度インタビューを聞き、他にどんなことをききたいか話し合う。 ・教科書の写真を見て、タボンガさんの暮らしについて気づいたことを話し合う。 <p>◆ノルウェー／南アフリカ</p> <p>教科書にある国の説明を読み、ノルウェーと南アフリカについて理解を深める。</p>	<p>○Let's watch.</p> <p>[聞く] 《知識》Unit 1～3 で学習した What ... do you like? や When is your birthday? などの表現や関連語句を理解している。／《技能》好きなもの、誕生日や誕生日に欲しいものなどについて聞き取る技能を身につけている。／《思・判・表》ノルウェーと南アフリカの小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取っている。／《態度》ノルウェーと南アフリカの小学生のインタビューから、大まかな内容を聞き取り、外国の文化や暮らしに興味を深めている。</p>
2	p.48 -p.49	<p>おたがいの共通点を見つけるために、先生や友達とやり取りをする。</p> <p>◆Let's think. 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループになって、sport や food など One-minute Talk の題材のアイデアを示した教科書の図を見ながら、おたがいのことを伝え合う。 ・自分が One-minute Talk で話したいことを考え、図に書き加える。 ・おたがいの「共通点」が見つかるやり取りについて、気づいたことを話し合う。 <p>◆Let's think. 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話を続けるには Response が大切であることを理解し、どんなときにどんな言葉を言ったらよいかを考える。 ・前時のインタビューをもう一度聞いて、質問や Response の仕方を確認する。 <p>◆You can do it!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードのモデル動画を視聴して、会話のイメージをつかむ。相手との共通点を探すのが目的であることに留意する。 ・「Good Performance」を確認しながら、よいやり取りについてのイメージを共有する。 ・ペアを組んで、最初の One-minute Talk をしてみる。 	<p>本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。</p>
3		<p>○You can do it!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル動画を再度視聴する。 ・前時の One-minute Talk を振り返って、教科書の Good Performance を参考によりよいやり取りするにはどうしたらよいかを考える。 ・4人グループになって、ペアに分かれて1組が One-minute Talk をする。もう1組はそのやり取りを見て、よかったところを伝える。ペアを変えて繰り返し行う。 ・グループ活動と並行して、一人ずつ ALT と One-minute Talk を行う。 <p>◆発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・One-minute Talk でどんな共通点が見つかったかを発表する。 <p>◆振り返り</p> <p>世界の友達のインタビューを聞き取ることができたか、相手との共通点を見つけるために1分間のやり取りができたかを振り返り、自己評価をする。</p>	<p>○You can do it!</p> <p>[話す やり取り] 《知識》Unit 1～3 で学習した What ... do you like? や When is your birthday? などの表現や関連語句を理解している。／《技能》好きなもの、誕生日や誕生日に欲しいものなどについて伝え合う技能を身につけている。／《思・判・表》おたがいの共通点を見つけるために、話題を選んで先生や友達と1分間のやり取りをしている。／《態度》おたがいの共通点を見つけるために、話題を選んで先生や友達と1分間のやり取りをしようとしている。</p>

Unit 4	He can run fast. She can do <i>kendama</i>.	題材	できること、できないこと
		教科書ページ	p.50-p.57 p.105
単元目標 【Goal】	友達や先生のことをよく知るために、できることをヒントにしたクイズを発表できる。 [聞く] クイズから、できることやできないことを聞き取ることができる。 [話す 発表] 身近な人のできることやできないことを紹介することができる。	重点化領域	聞くこと 話すこと 発表
		配当時間	7時間
		学習時期	9月～10月
言語材料	表現 【Step 1】 Can you ...? Yes, I can. / No, I can't. I can 【Step 2】 He / She can / can't 語句 できること・できないこと		
コミュニケーションに役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 呼び掛ける Hey, look. (イ) 礼を言う Thanks. (エ) 承諾する OK. (オ) 誘う Let's join them. Response 【Step 2】 Cool.		

評価規準(例) 《知識》=知識、《技能》=技能、《思・判・表》=思考・判断・表現、《態度》=主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》 Can you ...? や He / She can / can't などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 人ができることやできないことについて聞き取る技能を身につけている。 《思・判・表》 人当てクイズから、誰のことか考えながらできることやできないことを聞き取っている。 《態度》 人当てクイズから、誰のことか考えながらできることやできないことを聞き取るようとしている。
話すこと 【発表】	《知識》 Can you ...? や He / She can / can't などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 友達や先生ができることやできないことについて話す技能を身につけている。 《思・判・表》 友達や先生のことをよく知るために、簡単な語句や基本的な表現を用いてクイズを作り、発表している。 《態度》 友達や先生のことをよく知るために、簡単な語句や基本的な表現を用いてクイズを作り、発表しようとしている。

Alphabet Time 4 ※単元にとられず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》 スポーツを表す単語を理解している。 《技能》 音声で十分に慣れ親しんだスポーツを表す単語を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》 アルファベット (a~e) の書き方を理解している。 《技能》 アルファベット (a~e) を4線の上に書く技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】 動作や活動の言い方を知る。			
1	p.50 -p.51	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【Who Took the Cookies from the Cookie Jar?】 ◆Small Talk 【Let's go to the playground.】 ◆Story 【(場面) 休み時間に校庭をながめながら話す。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. 教科書の絵を見て、聞こえてきたものを指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】 できることやできないことをたずね合う。			
2	p.52 -p.53	できることをたずねる言い方を知る。 ◆Let's sing. 【Who Took the Cookies from the Cookie Jar?】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ○Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.11) で語彙を導入する。 ・ 登場人物の会話から、できることやできないことを聞き取る。 ◆Let's chant. 【Can you ride a bicycle?】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【Can you cook?】 ◆p.53の脚注 a, bの音と文字	○Let's listen. [聞く] 《知識》 Can you ...? などの表現や関連語句を理解している。 / 《技能》 人ができることやできないことについて聞き取る技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】 できることやできないことをたずね合う。			
3	p.52 -p.53	<p>できることやできないことをたずね合う。</p> <p>◆Let's chant. 【Can you ride a bicycle?】</p> <p>○Let's try. ペアで、相手ができそうなことについて、できるかどうかたずね合う。 【Plus One】 もっと知りたいことを質問する。</p> <p>◆Let's write and read. 自分ができていることを1つ書いて、声に出して読む。</p> <p>◆p.53の脚注 a, bの音と文字</p>	<p>○Let's try.</p> <p>[話す 発表] 《知識》 Can you ...? などの表現や関連語句を理解している。／《技能》 人ができることやできないことについて話す技能を身につけている。</p>
【Step 2】 友達ができることやできないことを伝え合う。			
4	p.54 -p.55	<p>友達や先生ができることやできないことを伝える言い方を知る。</p> <p>◆Let's chant. 【Can you ride a bicycle?】</p> <p>◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 2の表現を確認する。</p> <p>○Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.11) で語彙を導入する。 ・ 友達や先生の説明について、誰のことを言っているかを聞き取る。</p> <p>◆Let's chant. 【He can play baseball.】 チャンツを使って、Step 2の表現に慣れる。</p> <p>◆Small Talk 【Who is great?】</p> <p>◆p.55の脚注 c, d, eの音と文字</p>	<p>○Let's listen.</p> <p>[聞く] 《知識》 He / She can / can't などの表現や関連語句を理解している。／《技能》 人ができることやできないことについて聞き取る技能を身につけている。</p>
5		<p>友達ができることやできないことを伝え合う。</p> <p>◆Let's chant. 【He can play baseball.】</p> <p>○Let's try. 友達ができることやできないことを言って、誰のことか当て合う。 【Plus One】 クイズで分かったことを別のグループに紹介する。</p> <p>◆Let's write and read. 友達ができることを1つ書き、声に出して読む。</p> <p>◆p.55の脚注 c, d, eの音と文字</p>	<p>○Let's try.</p> <p>[話す 発表] 《知識》 He / She can / can't などの表現や関連語句を理解している。／《技能》 友達や先生ができることやできないことについて話す技能を身につけている。</p>
【Jump!】 友達や先生のことをよく知るために、できることをヒントにしたクイズを発表する。			
6	p.56 -p.57	<p>友達や先生についての話から、できることやできないことを聞き取る。</p> <p>◆Let's chant. 【Can you ride a bicycle?】 / 【He can play baseball.】</p> <p>○Let's listen. 友達や先生についてのクイズから、できることやできないことを聞き取り、誰のことを言っているかを当てる。</p> <p>◆Let's watch and think. 世界の友達の動画を視聴して、身近な人をどのように紹介しているかを理解し、次時の発表に生かす。</p> <p>◆Let's speak. ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ 教科書を見直すなどして、発表に使える表現を探し、全体で共有する。</p> <p>◆Alphabet Time 4 (p.105) Sounds and Letters a~eの文字から始まる単語を聞いて初めの文字を当てたり、聞き取った単語の初めの文字を書いたりする。</p>	<p>○Let's listen.</p> <p>[聞く] 《知識》 Can you ...? や He / She can / can't などの表現や関連語句を理解している。／《技能》 人ができることやできないことについて聞き取る技能を身につけている。／《思・判・表》 人当てクイズから、誰のことか考えながらできることやできないことを聞き取っている。／《態度》 聞き取ろうとしている。</p>
7		<p>友達や先生のことをよく知るために、できることをヒントにしたクイズを発表する。</p> <p>◆Let's chant. 【Can you ride a bicycle?】 / 【He can play baseball.】</p> <p>○Let's speak. ・ グループになって、できることやできないことをヒントに、友達や先生を当てるクイズを考える。 ・ クラスでクイズ大会をする。</p> <p>◆Alphabet Time 4 (p.105) Fun with Alphabet スポーツを表す単語と絵を結び付ける。</p> <p>◆All About Me 巻末の All About Me の Unit 4 に自分のことを書き入れる。</p> <p>◆振り返り 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。</p>	<p>○Let's speak.</p> <p>[話す 発表] 《知識》 Can you ...? や He / She can / Can't などの表現や関連語句を理解している。／《技能》 友達や先生ができることやできないことについて話す技能を身につけている。／《思・判・表》 友達や先生のことをよく知るために、簡単な語句や基本的な表現を用いてクイズを作り、発表している。／《態度》 発表しようとしている。</p>

Unit 5	My hero is my brother.	題材	あこがれの人
		教科書ページ	p.58-p.65 p.106
単元目標 【Goal】	自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人を紹介することができる。 [読む] 紹介文から、人の職業や性格などを読み取ることができる。 [書く] 人の職業や性格などについて書くことができる。 [話す 発表] 人の職業や性格などを言って、あこがれの人を紹介することができる。	重点化領域	読むこと 書くこと 話すこと 発表
		配当時間	7時間
		学習時期	10月～11月
言語材料	表現 【Step 1】 Who is this? He / She is (名前) He / She is (家族関係・職業など) 【Step 2】 He / She is (性格など) 語句 人、職業、性格・人がらなど		
コミュニケーションに役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 繰り返す Wheelchair basketball? (イ) 褒める Sounds cool. That's amazing. (オ) 依頼する Please look at this. Response 【Step 2】 Really?		

評価規準 (例) 《知識》=知識、《技能》=技能、《思・判・表》=思考・判断・表現、《態度》=主体的に学習に取り組む態度

読むこと	《知識》 Who is this? や He / She is などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 あこがれの人の家族関係、職業、性格などを伝える文を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。 《思・判・表》 あこがれの人の紹介文から、その人の職業や性格などを読み取っている。／《態度》 読み取ろうとしている。
書くこと	《知識》 Who is this? や He / She is などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 あこがれの人の家族関係、職業、性格などを伝える文を4線に書く技能を身につけている。 《思・判・表》 自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人の職業や性格などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。／《態度》 書こうとしている。
話すこと 【発表】	《知識》 Who is this? や He / She is などの表現や関連語句を理解している。 《技能》 あこがれの人について家族関係や職業や性格などを話す技能を身につけている。 《思・判・表》 自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人の職業や性格などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。／《態度》 発表しようとしている。

Alphabet Time 5 ※単元にとられず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》 性格などを表す単語を理解している。 《技能》 音声で十分に慣れ親しんだ性格などを表す単語を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》 アルファベット (f~j) の書き方を理解している。 《技能》 アルファベット (f~j) を4線に書く技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】 家族や職業、性格などの言い方を知る。			
1	p.58 -p.59	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【Humpty Dumpty】 ◆Small Talk 【Let's talk about our heroes.】 ◆Story 【(場面) 英語のクラスで、あこがれの人について話す。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. Picture Dictionary を見て、聞こえてきたものを指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】 人の職業などを伝える。			
2	p.60 -p.61	人の職業などを伝える言い方を知る。 ◆Let's sing. 【Humpty Dumpty】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1 の表現を確認する。 ◆Let's listen. ・Picture Dictionary (p.12-13) で語彙を導入する。 登場人物の話から、あこがれの人が誰かを聞き取る。 ◆Let's chant. 【She is my sister.】 チャンツを使って、Step 1 の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【She is a chef.】 ◆p.61 の脚注 f, g の音と文字	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】人の職業などを伝える。			
3	p.60 -p.61	人の職業などを伝える。 ◆Let's chant. 【She is my sister.】 ○Let's try. ペアで、身近にいるあこがれの人を紹介し合う。 【Plus One】グループになって、あこがれの人を紹介し合う。 ○Let's write and read. 自分が紹介した人について書き、声に出して読む。 ◆p.61の脚注 f, g の音と文字	○Let's try. [話す 発表]《知識》Who is this? や He / She isなどの表現や関連語句を理解している。／《技能》人の家族関係や職業などを話す技能を身につけている。 ○Let's write and read. [書く／読む]《技能》人の家族関係や職業を伝える文を4線の上に書く技能を身につけている。／《技能》読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
【Step 2】人の性格などを伝える。			
4	p.62 -p.63	人の性格などを伝える言い方を知る。 ◆Let's chant. 【She is my sister.】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 2の表現を確認する。 ◆Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.13) で語彙を導入する。 ・ あこがれの人についての説明から、その人の性格などを聞き取る。 ◆Let's chant. 【She is active.】 チャンツを使って、Step 2の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【My Favorite Character】 ◆p.63の脚注 h, i, j の音と文字	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
5		人の性格などを伝える。 ◆Let's chant. 【She is active.】 ○Let's try. よく知られた人の中からあこがれの人を選んで、その人のすてきなところを紹介し合う。 【Plus One】他のグループと、紹介した人についてのクイズを出し合う。 ○Let's write and read. あこがれの人の名前とその人の性格などを書き、声に出して読む。 ◆p.63の脚注 h, i, j の音と文字	
【Jump!】自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人を紹介する。			
6	p.64 -p.65	身近な人についての紹介文を読んだり話を聞いたりする。 ◆Let's chant. 【She is my sister.】／【She is active.】 ○Let's read. 登場人物が書いた身近な人の紹介文を読み、内容を理解する。 ◆Let's watch and think. 世界の友達の動画を視聴して、身近な人や良く知られた人をどのように紹介しているかを理解し、次時の発表に生かす。 ◆Let's write and speak. ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ これまでに紹介した人の中から1人を選び、「My Hero カード」を作る。 ◆Alphabet Time 5 (p.106) Sounds and Letters f~j の文字から始まる単語を聞いて初めの文字を当てたり、聞き取った単語の初めの文字を書いたりする。	○Let's read. [読む]《知識》He / She is などの表現や関連語句を理解している。／《技能》あこがれの人の家族関係、職業、性格などを伝える文を読んで意味が分かるために必要な技能を身につけている。／《思・判・表》あこがれの人の紹介文から、その人の職業や性格などを読み取っている。／《態度》読み取ろうとしている。
7		自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人を紹介する。 ◆Let's chant. 【She is my sister.】／【She is active.】 ○Let's write and speak. ・ 教科書を見直すなどして、活動に使える表現を探し、全体で共有する。 ・ 「My Hero カード」を示しながら、あこがれの人を発表する。 ◆Alphabet Time 5 (p.106) Fun with Alphabet 性格などを表す単語と絵を結び付ける。 ◆All About Me 巻末の All About Me の Unit 5 に自分のことを書き入れる。 ◆振り返り 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。	○Let's write and speak. [書く]《思・判・表》自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人の職業や性格などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。／《態度》書くようとしている。 [話す 発表]《思・判・表》自分の興味・関心を伝えるために、あこがれの人の職業や性格などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表している。／《態度》発表しようとしている。

言葉について考えよう1	日本語と英語のちがい 災害と英語／英語の物語	題材	言葉など
		教科書ページ	p.66-p.67
単元目標 【Goal】	日本語と英語の違いを考える。	配当時間	1時間
		学習時期	11月

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.66 -p.67	<p>日本語と英語のちがい 日本語と英語を比べて気づいたことを話し合い、言葉に対する興味を深める。</p> <p>◆家族を表す語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族を表す語について、日本語と英語を比べて気づいたことを挙げる。 <ul style="list-style-type: none"> - 日本語は「兄と弟」や「姉と妹」のように年上か年下かで言い方が変わるが、英語は年上か年下かにかかわらず、兄弟は brother、姉妹は sister と言う。 - father, mother など、英語の家族を表す語はどれも -er で終わる。 - 祖父母を表す英語は grandfather, grandmother と grand-が付く。 ・日本語と英語で違うと思うところや、共通すると思うところについて話し合う。 <p>◆自分を表す語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本で「自分」を表すいろいろな単語を挙げる。 ・自分を表す語の日本語と英語の違いについて気づいたことを話し合う。 <p>災害と英語 災害のときに人々を助ける職業について理解する。</p> <p>◆Let's listen.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真で示された職業の人が、災害のときにどのように人々を助けるか予想する。 ・災害のときに人々を助ける職業の話から、どの職業の人について言っているかを聞き取り、自分の予想が合っていたかどうか確かめる。 <p>◆Let's think.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に関係する 2 枚の写真を見て、それぞれの場面にどの職業の人が関わるとするかを話し合う。 <p>英語の物語 The Gingerbread Man The Gingerbread Man の物語を聞いて楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声聞いて、The Gingerbread Man の物語を楽しむ。 ・教科書の吹き出しにある I'm the gingerbread man. の "I" は、どんな日本語がふさわしいか考えて話し合う。 	<p>本時では、目標に向けた指導は行おうが、記録に残す評価は行わない。</p>

Unit 6	Where is the library?	題材	位置と場所、理想の町
		教科書ページ	p.68-p.75 p.107
単元目標 【Goal】	だれもが住みやすい町を考えて、「理想の町」を案内し合うことができる。 [聞く] 道案内から、場所や道順を聞き取ることができる。 [話す やり取り] 「理想の町」を道案内するやり取りをすることができる。	重点化領域	聞くこと 話すこと やり取り
		配当時間	7時間
		学習時期	11月～12月
言語材料	表現 【Step 1】 Where is ...? It's on / in / under / by 【Step 2】 Go straight for Turn right / left 語句 身の回りのもの、町、道案内		
コミュニケーションに役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 相づちを打つ Oh, I see. (ア) 繰り返す The library? Use a slope? (エ) 賛成する You're right, Shota. (オ) 依頼する Can you bring me some water, Lily? (オ) 命令する Go straight. Turn right at the first corner. Response 【Step 1】 Sorry?		

評価規準(例) 《知識》=知識、《技能》=技能、《思・判・表》=思考・判断・表現、《態度》=主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》Where is ...? や It's on / in / under / byや Go straight for.... Turn right / leftなどの表現や関連語句を理解している。 《技能》室内のものや町の施設について、それが場所や道順など、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。 《思・判・表》道案内の会話から、地図を参考に登場人物が行きたい施設への道順を聞き取っている。 《態度》道案内の会話から、地図を参考に登場人物が行きたい施設への道順を聞き取ろうとしている。
話すこと 【やり取り】	《知識》Where is ...? や It's on / in / under / byや Go straight for.... Turn right / leftなどの表現や関連語句を理解している。 《技能》室内のものや町の施設について、それが場所や道順などを伝え合う技能を身につけている。 《思・判・表》だれもが住みやすい「理想の町」を考え、簡単な語句や基本的な表現を用いて道案内をしている。 《態度》だれもが住みやすい「理想の町」を考え、簡単な語句や基本的な表現を用いて道案内をしようとしている。

Alphabet Time 6 ※単元にとられず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》施設を表す単語を理解している。 《技能》音声で十分に慣れ親しんだ施設を表す単語を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》アルファベット (k~o) の書き方を理解している。 《技能》アルファベット (k~o) を4線の上に書く技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】 店や施設の言い方を知る。			
1	p.68 -p.69	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【The Hokey-Pokey】 ◆Small Talk 【Let's go to Honcho Park.】 ◆Story 【(場面) 公園で、道案内の会話をする。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. 教科書の絵を見て、聞こえてきたものを指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】 ものがどこにあるかをたずね合う。			
2	p.70 -p.71	ものがどこにあるかをたずねたり答えたりする言い方を知る。 ◆Let's sing. 【The Hokey-Pokey】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 OLet's listen. ・ Picture Dictionary (p.9, p.16) で語彙を導入する。 登場人物の会話から、何が室内のどこにあるかを聞き取る。 ◆Let's chant. 【Where is the cup?】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【Where is the cookie jar?】 ◆p.71の脚注 k, lの音と文字	OLet's listen. [聞く] 《知識》Where is ...? や It's on / in / under / by などの表現や関連語句を理解している。 / 《技能》室内のものがある場所について、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】ものがどこにあるかをたずね合う。			
3	p.70 -p.71	ものがどこにあるかをたずね合う。 ◆Let's chant. 【Where is the cup?】 ○Let's try. 自分の理想の部屋を考え、ペアになってものがどこにあるかをたずね合う。 【Plus One】 グループになって、理想の部屋を紹介し合う。 ◆Let's write and read. 理想の部屋にあるものについてどこにあるかを書き、声に出して読む。 ◆p.71の脚注 k, lの音と文字	○Let's try. [話す やり取り]《知識》Where is ...? や It's on / in / under / byなどの表現や関連語句を理解している。／《技能》室内のものについて、それが場所などを伝え合う技能を身につけている。
【Step 2】道をたずねたり、答えたりする。			
4	p.72 -p.73	道をたずねたり、答えたりする言い方を知る。 ◆Let's chant. 【Where is the cup?】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 2の表現を確認する。 ○Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.14, p.16) で語彙を導入する。 ・ 道案内の会話から、どの施設が地図上のどこにあるかを聞き取る。 ◆Let's chant. 【Where is the station?】 チャンツを使って、Step 2の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【Where is the restaurant?】 ◆p.73の脚注 m, n, oの音と文字	○Let's listen. [聞く]《知識》Where is ...? や Go straight for... Turn right / leftなどの表現や関連語句を理解している。／《技能》町の施設への道順などの具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。
5		道をたずねたり、答えたりする。 ◆Let's chant. 【Where is the station?】 ○Let's try. 自分がほしい施設を地図に書き加え、ペアになってそこまでの道案内をする。 【Plus One】 相手を変えて、道案内をし合う。 ◆Let's write and read. 自分が道をたずねた施設について場所をたずねる文を書き、声に出して読む。 ◆p.73の脚注 m, n, oの音と文字	○Let's try. [話す やり取り]《知識》Where is ...?や Go straight for... Turn right / leftなどの表現や関連語句を理解している。／《技能》町の施設への道順などを伝え合う技能を身につけている。
【Jump!】だれもが住みやすい町を考えて、「理想の町」を案内し合う。			
6	p.74 -p.75	道案内の会話を聞いたり、世界の町の紹介から住みやすい町について考えたりする。 ◆Let's chant. 【Where is the cup?】 / 【Where is the station?】 ○Let's listen. 道案内の会話から、登場人物が道をたずねている施設の場所を聞き取る。 ◆Let's watch and think. 「食べられる町」トッドモーデンやニューヨークのセントラルパークの動画を視聴して、だれもが住みやすい町にはどんな施設があったらよいかを考え、次時の活動に生かす。 ◆Let's speak. ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ グループで考えた施設や場所の絵を用意する。 ◆Alphabet Time 6 (p.107) Sounds and Letters k~oの文字から始まる単語を聞いて初めの文字を当てたり、聞き取った単語の初めの文字を書いたりする。	○Let's listen. [聞く]《知識》Where is ...? や It's on / in / under / byや Go straight for... Turn right / leftなどの表現や関連語句を理解している。／《技能》室内のものや町の施設について、それが場所や道順など、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。／《思・判・表》道案内の会話から、地図を参考に登場人物が行きたい施設への道順を聞き取っている。／《態度》聞き取ろうとしている。
7		だれもが住みやすい町を考えて、「理想の町」を案内し合う。 ◆Let's chant. 【Where is the cup?】 / 【Where is the station?】 ○Let's speak. ・ 教科書を見直すなどして、活動に使える表現を探す。 ・ 教科書の地図を使って、グループで「理想の町」を案内する。 ◆Alphabet Time 6 (p.107) Fun with Alphabet 施設を表す単語を絵や地図記号と結び付ける。 ◆All About Me 巻末の All About Me の Unit 6 に自分のことを書き入れる。 ◆振り返り 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。	○Let's speak. [話す やり取り]《知識》Where is ...? や It's on / in / under / byや Go straight for... Turn right / leftなどの表現や関連語句を理解している。／《技能》室内のものや町の施設について、それが場所や道順などを伝え合う技能を身につけている。／《思・判・表》だれもが住みやすい「理想の町」を考え、簡単な語句や基本的な表現を用いて道案内をしている。／《態度》しようとしている。

まとめ	世界の友達 2 You can do it! 2	題材	中国・オーストラリア
		教科書ページ	p.76-p.79
単元目標 【Goal】	・世界の小学生のビデオレターから、大まかな内容を聞き取ることができる。 ・おたがいのちがいをみとめ合う詩を作って、発表することができる。 [聞く] 世界の友達のビデオレターから、どんな話をしているか聞き取ることができる。 [書く・話す 発表] おたがいのちがいをみとめ合う詩を作って、発表することができる。	重点化領域	聞くこと 書くこと 話すこと 発表
		配当時間	3時間
		学習時期	12月
言語材料	表現【Unit 4】 I can / can't He / She can / can't 【Unit 5】 Who is your hero? My hero is He / She is 語句 これまでに学習した語句		
コミュニケーション に役立つフレーズ	機能表現 (ア) 挨拶をする Hello, from China. Hi, friends! (オ) 質問する What do you like? What can you do? Who is your hero? (オ) 依頼する Please look at this picture. Please tell me about your hero.		

評価規準(例) 《知識》=知識、《技能》=技能、《思・判・表》=思考・判断・表現、《態度》=主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》Unit 4~5で学習したI can / can'tやHe / She can / can'tやHe / She isなどの表現や関連語句を理解している。 《技能》自分や身近な人ができることや、身近な人の職業や性格などについて聞き取る技能を身につけている。 《思・判・表》中国とオーストラリアの小学生のビデオレターから、大まかな内容を聞き取っている。 《態度》中国とオーストラリアの小学生のビデオレターから、大まかな内容を聞き取り、外国の文化や暮らしに興味を深めている。
書くこと	《知識》Unit 4~5で学習したI can / can'tやHe / She can / can'tなどの表現や関連語句を理解している。 《技能》語句をなぞったり書き写したりして、自分や身近な人ができることやできないことを伝える文を書く技能を身につけている。 《思・判・表》おたがいのことをよく知るために、ワークシートに語句を書き入れて、自分と相手の違いを認め合う詩を作っている。 《態度》おたがいのことをよく知るために、ワークシートに語句を書き入れて、自分と相手の違いを認め合う詩を作ろうとしている。
話すこと 【発表】	《知識》Unit 4~5で学習したI can / can'tやHe / She can / can'tなどの表現や関連語句を理解している。 《技能》自分や身近な人ができることやできないことについて話す技能を身につけている。 《思・判・表》おたがいのことをよく知るために、自分と身近な人の違いを認め合う詩を作って発表している。 《態度》おたがいのことをよく知るために、自分と身近な人の違いを認め合う詩を作って、発表しようとしている。

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.76 -p.77	<p>世界の小学生のビデオレターから、大まかな内容を聞き取る。</p> <p>○Let's watch.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国のミッキさんのビデオレターから、できることを2つ聞き取る。 ・もう一度ビデオレターを視聴し、他にどんなことをききたいか話し合う。 ・教科書の写真を見て、ミッキさんの暮らしについて気づいたことを話し合う。 <p>○Let's watch.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアのアレックスさんのビデオレターから、あこがれの人物2人を聞き取る。 ・もう一度ビデオレターを視聴し、他にどんなことをききたいか話し合う。 ・教科書の写真を見て、アレックスさんの暮らしについて気づいたことを話し合う。 <p>◆中国／オーストラリア</p> <p>教科書にある国の説明を読み、中国とオーストラリアについて理解を深める。</p>	<p>○Let's watch.</p> <p>[聞く] 《知識》Unit 4～5 で学習した I can / can'tや He / She can / can'tや He / She isなどの表現や関連語句を理解している。／《技能》自分や身近な人ができることや、身近な人の職業や性格などについて聞き取る技能を身につけている。／《思・判・表》中国とオーストラリアの小学生のビデオレターから、大まかな内容を聞き取っている。／《態度》中国とオーストラリアの小学生のビデオレターから、大まかな内容を聞き取り、外国の文化や暮らしに興味を深めている。</p>
2	p.78 -p.79	<p>おたがいのちがいをみとめ合う詩を作って、発表する。</p> <p>◆Let's think. 1</p> <p>金子みすゞの詩「わたしと小鳥とすずと」を読んで、感想を話し合ったり、それぞれの違いを表現するためにどんな工夫をしているかを考えたりする。</p> <p>◆Let's think. 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩に取り上げる身近な人を決め、おたがいのできることとできないことを書き出して詩の内容を考える。 <p>○詩を書く</p> <p>ワークシートに語句を書き入れて詩を作る。教科書の Good Performance を参考に、教科書を見直して使える表現を探したり、伝える表現の順番を工夫したりする。</p> <p>◆You can do it!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードのモデル動画を視聴して、発表のイメージをつかむ。 ・「Good Performance」を確認しながら、よい発表についてのイメージを共有する。 	<p>○詩を書く</p> <p>[書く] 《知識》Unit 4～5 で学習した I can / can'tや He / She can / can'tなどの表現や関連語句を理解している。／《技能》語句をなぞったり書き写したりして、自分や身近な人ができることやできないことを伝える文を書く技能を身につけている。／《思・判・表》おたがいのことをよく知るために、ワークシートに語句を書き入れて、自分と相手の違いを認め合う詩を作っている。／《態度》おたがいのことをよく知るために、ワークシートに語句を書き入れて、自分と相手の違いを認め合う詩を作ろうとしている。</p>
3		<p>○You can do it!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル動画を再度視聴する。 ・ペアになって発表の練習をする。ワークシートを見せながら、声の大きさやスピードを意識して、聞き手にわかりやすく発表できるようにする。 ・グループ内で1人ずつ発表する。聞き手は、詩の内容や発表のよいところをメモしておく。 <p>◆感想を伝え合う</p> <p>それぞれの詩の内容や発表の仕方について感想を伝え合う。</p> <p>◆振り返り</p> <p>世界の友達のビデオレターを聞き取ることができたか、おたがいのことをよく知るために、違いを認め合う詩を作って発表することができたかを振り返り、自己評価をする。</p>	<p>○You can do it!</p> <p>[話す 発表] 《知識》Unit 4～5 で学習した I can / can'tや He / She can / can'tなどの表現や関連語句を理解している。／《技能》自分や身近な人ができることやできないことについて話す技能を身につけている。／《思・判・表》おたがいのことをよく知るために、自分と身近な人の違いを認め合う詩を作って発表している。／《態度》おたがいのことをよく知るために、自分と身近な人の違いを認め合う詩を作って、発表しようとしている。</p>

Unit 7	What would you like?	題材	料理、値段
		教科書ページ	p.80-p.87 p.108
単元目標 【Goal】	ちいきの名産品を広めるために、オリジナル料理を考えて注文し合うことができる。 [聞く] 会話から、料理のねだんや注文の内容を聞き取ることができる。 [話す やり取り] 料理を注文したり、ねだんをたずね合ったりするやり取りをすることができる。	重点化領域	聞くこと 話すこと やり取り
		配当時間	7時間
		学習時期	1月～2月
言語材料	表現【Step 1】 What would you like? I'd like 【Step 2】 How much is it? It's ... yen. 語句 果物・野菜、さまざまな食材、食べ物、飲み物・デザート、味・食感、数字		
コミュニケーション に役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (イ) 驚きを表す Really? (イ) ためらいを示す Let's see. (エ) 承諾する All right. (オ) 質問する How about you, Dad? (オ) 依頼する I'd like today's special, a salad, and tea, please. Response 【Step 1】 Sure. 【Step 2】 Let's see.		

評価規準(例) 《知識》=知識、《技能》=技能、《思・判・表》=思考・判断・表現、《態度》=主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》What would you like? や How much is it? などの表現や関連語句を理解している。 《技能》注文した料理やその値段などについて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。 《思・判・表》レストランでの会話から、注文した料理や料理の値段などを聞き取っている。 《態度》レストランでの会話から、注文した料理や料理の値段などを聞き取ろうとしている。
話すこと 【やり取り】	《知識》What would you like? や How much is it? などの表現や関連語句を理解している。 《技能》丁寧な言い方で料理を注文し合ったり、値段をたずね合ったりする技能を身につけている。 《思・判・表》地域の名産品を広めるために、オリジナル料理を考えて、簡単な語句や基本的な表現を用いて注文し合っている。 《態度》地域の名産品を広めるために、オリジナル料理を考えて、簡単な語句や基本的な表現を用いて注文し合おうとしている。

Alphabet Time 7 ※単元にとられず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》食べ物や飲み物を表す単語を理解している。 《技能》音声で十分に慣れ親しんだ食べ物や飲み物を表す単語を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》アルファベット (p~t) の書き方を理解している。 《技能》アルファベット (p~t) を4線の上に書く技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】食べ物や飲み物、値段の言い方を知る。			
1	p.80 -p.81	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【Pease Porridge Hot】 ◆Small Talk 【Let's go to Hungry Lion.】 ◆Story 【(場面) ニックの家族がレストランにやって来る。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. メニューを見て、説明に合うものを指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】丁寧な言い方で料理を注文し合う。			
2	p.82 -p.83	丁寧に料理を注文する言い方を知る。 ◆Let's sing. 【Pease Porridge Hot】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ○Let's listen. ・Picture Dictionary (p.6-7) で語彙を導入する。 昼食を注文する場面の会話から、注文したものを聞き取る。 ◆Let's chant. 【I'd like French fries.】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【What would you like?】 ◆p.83の脚注 p, qの音と文字	○Let's listen. [聞く] 《知識》What would you like? などの表現や関連語句を理解している。/ 《技能》注文した料理について、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】丁寧な言い方で料理を注文し合う。			
3	p.82 -p.83	<p>丁寧な言い方で料理を注文し合う。</p> <p>◆Let's chant. 【I'd like French fries.】</p> <p>○Let's try. ハングリーライオンの店員と客になって、料理を注文し合う。</p> <p>【Plus One】注文内容を確認めたり、お礼を伝えたりするなど、やり取りを工夫する。</p> <p>◆Let's write and read. 自分が注文したものを伝える文を書き、声に出して読む。</p> <p>◆p.83の脚注 p, qの音と文字</p>	<p>○Let's try.</p> <p>[話す やり取り]《知識》What do you like? などの表現や関連語句を理解している。／《技能》丁寧な言い方で料理を注文し合う技能を身につけている。</p>
【Step 2】値段を確かめて注文する。			
4	p.84 -p.85	<p>値段を確かめる言い方を知る。</p> <p>◆Let's chant. 【I'd like French fries.】</p> <p>◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 2の表現を確認する。</p> <p>○Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.4-5, p.18) で語彙を導入する。 ・ レストランでの会話から、いろいろなものの値段を聞き取る。</p> <p>◆Let's chant. 【How much is it?】 チャンツを使って、Step 2の表現に慣れる。</p> <p>◆Small Talk 【We are in New York.】</p> <p>◆p.85の脚注 r, s, tの音と文字</p>	<p>○Let's listen.</p> <p>[聞く]《知識》How much is it? などの表現や関連語句を理解している。／《技能》ものの値段について具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。</p>
5		<p>値段を確かめて注文する。</p> <p>◆Let's chant. 【How much is it?】</p> <p>○Let's try. 800円以内に収まるように注文し、オリジナル料理を完成させる。</p> <p>【Plus One】グループになって、オリジナル料理を紹介し合う。</p> <p>◆Let's write and read. オリジナル料理の値段を伝える文を書き、声に出して読む。</p> <p>◆p.85の脚注 r, s, tの音と文字</p>	<p>○Let's try.</p> <p>[話す やり取り]《知識》How much is it? などの表現や関連語句を理解している。／《技能》値段をたずね合う技能を身につけている。</p>
【Jump!】地域の名産品を広めるために、オリジナル料理を考えて注文し合う。			
6	p.86 -p.87	<p>レストランでの会話や世界の料理の紹介を聞き、自分たちのオリジナル料理の説明などに生かす。</p> <p>◆Let's chant. 【I'd like French fries.】 / 【How much is it?】</p> <p>○Let's listen. レストランでの会話から、オリジナル料理の値段や注文したものなどを聞き取る。</p> <p>◆Let's watch and think. 世界の友達がいる国の有名な料理についての説明を聞き、味や材料についての言い方などを次時の活動に生かす。</p> <p>◆Let's speak. ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ 地域の名産品を使った料理を考えてメニュー表を作る。</p> <p>◆Alphabet Time 7 (p.108) Sounds and Letters p～tの文字から始まる単語を聞いて初めの文字を当てたり、聞き取った単語の初めの文字を書いたりする。</p>	<p>○Let's listen.</p> <p>[聞く]《知識》What would you like? や How much is it? などの表現や関連語句を理解している。／《技能》注文した料理やその値段などについて、具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。／《思・判・表》レストランでの会話から、注文した料理や料理の値段などを聞き取っている。／《態度》聞き取るようとしている。</p>
7		<p>地域の名産品を広めるために、オリジナル料理を考えて注文し合う。</p> <p>◆Let's chant. 【I'd like French fries.】 / 【How much is it?】</p> <p>○Let's speak. ・ 教科書を見直すなどして、活動に使える表現を探し、全体で共有する。 ・ 店員と客になって料理を注文し合う。</p> <p>◆Alphabet Time 7 (p.108) Fun with Alphabet 食べ物や飲み物を表す単語とシルエットを結び付ける。</p> <p>◆All About Me 巻末の All About Me の Unit 7 に自分のことを書き入れる。</p> <p>◆振り返り 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。</p>	<p>○Let's speak.</p> <p>[話す やり取り]《知識》What would you like? や How much is it? などの表現や関連語句を理解している。／《技能》丁寧な言い方で料理を注文し合ったり、値段をたずね合ったりする技能を身につけている。／《思・判・表》地域の名産品を広めるために、オリジナル料理を考えて、簡単な語句や基本的な表現を用いて注文し合っている。／《態度》注文し合おうとしている。</p>

言葉について考えよう2	心をつなぐ言葉	題材	言葉
		教科書ページ	p.88
単元目標【Goal】	心をつなぐ言葉について考える。	配当時間	1時間
		学習時期	2月
コミュニケーションに役立つフレーズ	機能表現 (イ) 礼を言う Thank you. (イ) 褒める That's great. (オ) 質問する Are you OK? (オ) 依頼する Five, please.		

評価規準(例) 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	<p>《知識》 Thank you. や That's great. などの機能的な表現を理解している。</p> <p>《技能》 Thank you. や That's great. などの機能的な表現を聞き取る技能を身につけている。</p> <p>《思・判・表》 それぞれの場面にふさわしい言葉を考え、それを確かめるために会話を聞き取っている。</p> <p>《態度》 それぞれの場面にふさわしい言葉を考え、それを確かめるために会話を聞き取ろうとしている。</p>
------	---

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.88	<p>心をつなぐ言葉</p> <p>心をつなぐ言葉の大切さや、相手に応じた言葉遣いがあることに気づき、言葉に対する興味を深める。</p> <p>・ 次の①～④の場面で、自分なら何と言うかを考える。</p> <p>① 親切にしてもらったとき ② 相手の話に感心したとき ③ お願いをするとき ④ 友達が転んだとき</p> <p>OLet's listen.</p> <p>A～D の言葉が上の①～④のどの場面で使われているかを予想し、音声を聞いて確かめる。</p> <p>A Five, please. B That's great. C Are you OK? D Thank you.</p> <p>・ 下の例をヒントに、同じ意味でも相手によって言葉が変わることに気づき、日本語ではどうか、どんな場合に変わるかなどについて話し合う。</p> <p>I want a hot dog. I'd like a hot dog.</p>	<p>OLet's listen.</p> <p>[聞く] 《知識》 Thank you. や That's great. などの機能的な表現を理解している。／《技能》 Thank you. や That's great. などの機能的な表現を聞き取る技能を身につけている。／《思・判・表》それぞれの場面にふさわしい言葉を考え、それを確かめるために会話を聞き取っている。／《態度》聞き取ろうとしている。</p>

Unit 8	This is my town.	題材	自分たちの町
		教科書ページ	p.90-p.97 p.109
単元目標 【Goal】	自分の町のみりよくを伝えるために、パンフレットを作って紹介することができる。 [読む] パンフレットから、町にあるものやそこでできることを読み取ることができる。 [書く] 町にあるものやそこでできることについて、書くことができる。 [話す 発表] 町にあるものやそこでできることを紹介することができる。	重点化領域	読むこと 書くこと 話すこと 発表
		配当時間	7時間
		学習時期	2月～3月
言語材料	表現 【Step 1】 We have 【Step 2】 You can see / eat / enjoy 語句 町、自然、動作など、様子など、感想など		
コミュニケーションに役立つフレーズ	アニメーションに登場する機能表現 (ア) 呼び掛ける Hey, guys. (イ) 褒める Oh, that sounds interesting. (オ) 誘う Come and visit us, thank you.		

評価規準(例) 《知識》=知識、《技能》=技能、《思・判・表》=思考・判断・表現、《態度》=主体的に学習に取り組む態度

読むこと	《知識》 We haveや You can see / eat / enjoyなどの表現や関連語句を理解している。 《技能》 町にあるものや町でできることを伝える文を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。 《思・判・表》 パンフレットから、町にあるものや町でできることを読み取っている。／《態度》読み取ろうとしている。
書くこと	《知識》 We haveや You can see / eat / enjoyなどの表現や関連語句を理解している。 《技能》 町にあるものや町でできることを伝える文を4線の上に書く技能を身につけている。 《思・判・表》 自分の町の魅力を伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、町紹介のパンフレットを書いている。／《態度》書こうとしている。
話すこと 【発表】	《知識》 We haveや You can see / eat / enjoyなどの表現や関連語句を理解している。 《技能》 町にあるものや町でできることについて話す技能を身につけている。 《思・判・表》 自分の町の魅力を伝えるために、町にあるものや町でできることを、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介している。／《態度》紹介しようとしている。

Alphabet Time 8 ※単元にとらわれず、継続的に見取っていく。

読むこと	《知識》 動作などを表す単語を理解している。 《技能》 音声で十分に慣れ親しんだ動作などを表す単語を読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
書くこと	《知識》 アルファベット (u~z) の書き方を理解している。 《技能》 アルファベット (u~z) を4線の上に書く技能を身につけている。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Hop!】施設や場所の言い方を知る。			
1	p.90 -p.91	アニメーションを通じて、本単元のトピックや語彙に触れる。 ◆Let's sing. 【Go Round and Round the Village】 ◆Small Talk 【Let's be friends.】 ◆Story 【(場面) ニックたちが、町紹介のビデオを作る。】 アニメーションを視聴して、場面と話題を捉える。 ◆Let's listen and point. クイズを聞いて、答えに合う絵を指す。	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
【Step 1】自分の町のお気に入りの場所を伝え合う。			
2	p.92 -p.93	自分の町のお気に入りの場所を伝える言い方を知る。 ◆Let's sing. 【Go Round and Round the Village】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 1の表現を確認する。 ◆Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.14, p.17) で語彙を導入する。 ・ 登場人物の話から、彼らの町のお気に入りの場所を聞き取る。 ◆Let's chant. 【We have a zoo.】 チャンツを使って、Step 1の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【Do you have a restaurant in your town?】 ◆p.93の脚注 u, v, wの音と文字	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。

時	ページ	主な活動内容	評価
【Step 1】 自分の町のお気に入りの場所を伝え合う。			
3	p.92 -p.93	自分の町のお気に入りの場所を伝え合う。 ◆Let's chant. 【We have a zoo.】 ○Let's try. グループになって、自分の町にあるお気に入りの場所を伝え合う。 【Plus One】 グループで伝え合った場所から1つ選んで、クラスで発表する。 ○Let's write and read. 自分の町にあるものを伝える文を書き、声に出して読む。 ◆p.93の脚注 u, v, wの音と文字	○Let's try. [話す 発表]《知識》We have ... などの表現や関連語句を理解している。／《技能》町にあるものを話す技能を身につけている。 ○Let's write and read. [書く／読む]《技能》町にあるものを伝える文を4線の上に書く技能を身につけている。／《技能》読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。
【Step 2】 自分の町でできることを伝え合う。			
4	p.94 -p.95	自分の町でできることを伝える言い方を知る。 ◆Let's chant. 【We have a zoo.】 ◆Let's watch. アニメーションの一部を使って、Step 2の表現を確認する。 ◆Let's listen. ・ Picture Dictionary (p.14-17) で語彙を導入する。 ・ ラジオ番組のインタビューから、その町でできることを聞き取る。 ◆Let's chant. 【You can enjoy fishing.】 チャンツを使って、Step 2の表現に慣れる。 ◆Small Talk 【Can you ski in your town?】 ◆p.95の脚注 x, y, zの音と文字	本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
5		自分の町でできることを伝え合う。 ◆Let's chant. 【You can enjoy fishing.】 ○Let's try. グループになって、自分たちの町でできることを紹介し合う。 【Plus One】 グループで出し合ったことを、クラスで発表する。 ○Let's write and read. 町でできることを伝える文を書き、声に出して読む。 ◆p.95の脚注 x, y, zの音と文字	
【Jump!】 自分の町の魅力を伝えるために、パンフレットを作って紹介する。			
6	p.96 -p.97	町紹介のパンフレットを読んだり、世界の友達の町紹介を聞いたりして、自分たちの町紹介について考える。 ◆Let's chant. 【We have a zoo.】／【You can enjoy fishing.】 ○Let's read. 町紹介のパンフレットを読んで、内容に合う写真を選ぶ。 ◆Let's watch and think. 世界の友達が紹介する自分の町の魅力を理解し、自分たちの町の魅力を伝えるにはどんなことを紹介したらよいかを考える。 ◆Let's write and speak. ・ モデルの動画を視聴して、活動のイメージをもつ。 ・ グループになって、町紹介のパンフレットを作る。 ◆Alphabet Time 8 (p.109) Sounds and Letters u～zの文字から始まる単語を聞いて初めの文字を当てたり、聞き取った単語の初めの文字を書いたりする。	○Let's read. [読む]《知識》We have ... や You can see / eat / enjoy ... などの表現や関連語句を理解している。／《技能》町にあるものや町でできることを伝える文を読んで意味が分かるために必要な技能を身につけている。／《思・判・表》パンフレットから、町にあるものや町でできることを読み取っている。／《態度》読み取るうとしている。
7		自分の町の魅力を伝えるために、パンフレットを作って紹介する。 ◆Let's chant. 【We have a zoo.】／【You can enjoy fishing.】 ○Let's write and speak. ・ 教科書を見直すなどして、活動に使える表現を探し、全体で共有する。 ・ パンフレットを示しながら、自分の町の魅力について発表する。 ◆Alphabet Time 8 (p.109) Fun with Alphabet 文を読んで、文脈にふさわしい動詞を選ぶ。 ◆All About Me 巻末の All About Me の Unit 8 に自分のことを書き入れる。 ◆振り返り 学習を振り返り、工夫したことや次に生かしたいことを確認する。	○Let's write and speak. [書く]《思・判・表》自分の町の魅力を伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、町紹介のパンフレットを書いている。／《態度》書こうとしている。 [話す 発表]《思・判・表》自分の町の魅力を伝えるために、町にあるものや町でできることを、簡単な語句や基本的な表現を用いて紹介している。／《態度》紹介しようとしている。

まとめ	世界の友達 3 You can do it! 3	題材	アゼルバイジャン・イギリス
		教科書ページ	p.98-p.101
単元目標 【Goal】	・世界の小学生のビデオレターから、大まかな内容を聞き取ることができる。 ・地域の魅力を伝えるために、チャンツを作って発表することができる。 [聞く] 世界の友達のビデオレターから、どんな話をしているか聞き取ることができる。 [話す 発表] 地域の魅力を伝えるために、チャンツを作って発表することができる。	重点化領域	聞くこと 話すこと 発表
		配当時間	3時間
		学習時期	3月
言語材料	表現 【Unit 8】 We have You can see / eat 語句 これまでに学習した語句		

評価規準（例） 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

聞くこと	《知識》 Unit 8 で学習した We haveや You can see / eatなどの表現や関連語句を理解している。 《技能》 町にあるものや町でできること、その国の名物料理などについて聞き取る技能を身につけている。 《思・判・表》 アゼルバイジャンとイギリスの小学生のビデオレターから、大まかな内容を聞き取っている。 《態度》 アゼルバイジャンとイギリスの小学生のビデオレターから、大まかな内容を聞き取り、外国の文化や暮らしに興味を深めている。
話すこと 【発表】	《知識》 Unit 8 で学習した We haveや You can see / eatなどの表現や関連語句を理解している。 《技能》 自分の地域にあるものやそこでできることについて話す技能を身につけている。 《思・判・表》 地域の魅力を伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて地域を紹介するチャンツを作って発表している。 《態度》 地域の魅力を伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて地域を紹介するチャンツを作って発表しようとしている。

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.98 -p.99	<p>世界の小学生のビデオレターから、大まかな内容を聞き取る。</p> <p>○Let's watch.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アゼルバイジャンのアミールさんのビデオレターから、アゼルバイジャンの名物料理を聞き取る。 ・もう一度ビデオレターを視聴し、他にどんなことをききたいか話し合う。 ・教科書の写真を見て、アミールさんの暮らしについて気づいたことを話し合う。 <p>○Let's watch.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリスのリジーさんのビデオレターから、リジーさんが住む町にあるものを聞き取る。 ・もう一度ビデオレターを視聴し、他にどんなことをききたいか話し合う。 ・教科書の写真を見て、リジーさんの暮らしについて気づいたことを話し合う。 <p>◆アゼルバイジャン／イギリス</p> <p>教科書にある国の説明を読み、アゼルバイジャンとイギリスについて理解を深める。</p>	<p>○Let's watch.</p> <p>[聞く]《知識》Unit 8 で学習した We have ...や You can see / eat ...などの表現や関連語句を理解している。／《技能》町にあるものや町でできること、その国の名物料理などについて聞き取る技能を身につけている。／《思・判・表》アゼルバイジャンとイギリスの小学生のビデオレターから、大まかな内容を聞き取っている。／《態度》アゼルバイジャンとイギリスの小学生のビデオレターから、大まかな内容を聞き取り、外国の文化や暮らしに興味を深めている。</p>
2	p.100 -p.101	<p>地域の魅力を伝えるために、チャンツを作って発表する。</p> <p>◆Let's think.</p> <p>教科書の地図を参考に、自分が住んでいる都道府県の魅力を書き出す。</p> <p>◆Let's chant. 【Welcome to our town.】</p> <p>いくつかの地域紹介のチャンツを聞いたり歌ったりして、自分たちのチャンツを作るときの参考にする。</p> <p>◆チャンツを作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループになって、チャンツで紹介する内容を考える。 ・伝える情報の順番などを工夫して、チャンツを作る。 <p>◆You can do it!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードのモデル動画を視聴して、発表のイメージをつかむ。 ・「Good Performance」を確認しながら、よい発表についてのイメージを共有する。 ・発表に使う写真などを次時まで用いる。 	<p>本時では、目標に向けた指導は行いが、記録に残す評価は行わない。</p>
3		<p>○You can do it!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル動画を再度視聴する。 ・グループで発表の練習をする。写真などを見せながら、声の大きさやスピードを意識して、聞き手にわかりやすく発表できるようにする。 ・グループごとに教室の前に出て発表する。聞き手は、チャンツの内容や発表のよいところをメモしておく。 <p>◆感想を伝え合う</p> <p>各グループのチャンツの内容や発表の仕方について感想を伝え合う。</p> <p>◆振り返り</p> <p>世界の友達のビデオレターを聞き取ることができたか、地域の魅力を伝えるために、チャンツを作って発表することができたかを振り返り、自己評価をする。</p>	<p>○You can do it!</p> <p>[話す 発表]《知識》Unit 8 で学習した We have ...や You can see / eat ...などの表現や関連語句を理解している。／《技能》自分の地域にあるものやそこでできることについて話す技能を身につけている。／《思・判・表》地域の魅力を伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて地域を紹介するチャンツを作って発表している。／《態度》地域の魅力を伝えるために、簡単な語句や基本的な表現を用いて地域を紹介するチャンツを作って発表しようとしている。</p>

英語の物語	Yes, you can.	題材	物語、環境
		教科書ページ	p.102-p.103
単元目標 【Goal】	英語の物語を声に出して読み、考えたことを話し合う。	配当時間	1時間
		学習時期	3月
言語材料	表現 I can / can't You can 命令文 (Swim./Help me.) 語彙 swim, catch, fish, warm, today, help, great, now		
コミュニケーション に役立つフレーズ	機能表現 (イ) 励ます Go for it. (オ) 命令する Help me.		

評価規準（例） 《知識》＝知識、《技能》＝技能、《思・判・表》＝思考・判断・表現、《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

読むこと	《知識》 I can / can'tや相手の行動を促したり励ましたりする表現や関連語句を理解している。 《技能》 音声を聞いたり絵から意味を推測したりして、読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。 《思・判・表》 物語の内容を理解し、登場人物になったつもりで、気持ちを込めてせりふを声に出して読んでいる。 《態度》 物語の内容を理解し、登場人物になったつもりで、気持ちを込めてせりふを声に出して読もうとしている。
------	---

時	ページ	主な活動内容	評価
1	p.102 -p.103	<p>ホッキョクグマの物語を気持ちを含めて声に出して読み、考えたことを話し合う。</p> <p>◆物語の概要を捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵を見て、物語の概要を予測する。 ・音声を聞いて、物語の概要を捉える。 <p>◆子グマと母グマの気持ちを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子グマと母グマが次のせりふをどんな気持ちで言っているかを考える。 子グマ：I can't swim. I can't catch a fish. 母グマ：Swim. 子グマ：No, I can't. 母グマ：Yes, you can. (こう言われた子グマの気持ちの変化を考える。) 子グマ：Yes, I can swim now. <p>○音読する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声の後について読んだり、音声と一しょに読んだりして、音読の練習をする。 ・子グマと母グマとカモメの役に分かれて、気持ちを込めてせりふを読む。 <p>◆感想を話し合う</p> <p>物語を読んで、「いいな」と思ったり、「気持ちがわかる」と思ったりしたところを話し合う。</p> <p>◆地球の環境問題について話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の中で、ホッキョクグマが住んでいる所の氷が割れてしまったのはどうしてかを考え、地球の温暖化の影響であることに気づく。 ・地球の温暖化について、どういうことが起きているか、そのまま放置するとどうなるかなど、知っていることを出し合う。 ・地球の温暖化を止めるために自分たちができることを話し合う。 	<p>○音読する</p> <p>[読む]《知識》I can / can't...や相手の行動を促したり励ましたりする表現や関連語句を理解している。／《技能》音声を聞いたり絵から意味を推測したりして、読んで意味が分かるために、必要な技能を身につけている。／《思・判・表》物語の内容を理解し、登場人物になったつもりで、気持ちを込めてせりふを声に出して読んでいる。／《態度》物語の内容を理解し、登場人物になったつもりで、気持ちを込めてせりふを声に出して読もうとしている。</p>